

平成21年度企画事業

## 教員免許状更新講習「教科指導・学級経営に生かす体験活動」

- ◆期 日 平成21年10月17日（土）、18日（日）、24日（土）
- ◆会 場 国立能登青少年交流の家
- ◆募 集 教員 30名
- ◆参加者 4名（小学校教員3名、青少年教育施設職員1名）
- ◆講 師 大久保英哲（金沢大学教授）  
平井敦夫（金沢学院大学教授）  
池田幸應（金沢星稜大学教授）  
齊藤一彦（金沢大学准教授）  
赤壁健司（国立能登青少年交流の家主任企画指導専門職）  
高橋和徳（国立能登青少年交流の家企画指導専門職）
- ◆主 催 国立能登青少年交流の家

### 1 趣旨

教員が、学習指導要領改訂で示された児童・生徒の「体験活動」の必要性について一層の理解を深め、またその実習体験をすることにより、教育内容の充実に資す

### 2 ねらい

- (1) 新しい学習指導要領に示されている体験活動の必要性についての知識を深める。
- (2) 実習を行うことにより、体験活動の指導力を高める。
- (3) 体験活動を行う上での危機管理能力、安全に対する能力を高める。

### 3 活動の概要

《10/17（土）》

9:00 開講式

10:00 講義「体験活動の教育的意義」（大久保英哲教授）

13:00 実習「体験学習法の体験」（高橋和徳企画指導専門職）

15:00 講義「体験活動と安全管理」（平井敦夫教授）

《10/18（日）》

9:00 実習「テント設営と安全／身近な自然を使ったゲーム」（池田幸應教授）

13:00 実習「火おこし体験と野外炊飯」（赤壁健司主任企画指導専門職）

《10/24(土)》

- 9:00 実習「ポイントオリエンテーリング」(赤壁健司主任企画指導専門職)
- 13:00 講義「学習指導要領と体験活動」(齊藤一彦准教授)
- 15:10 履修認定試験
- 16:15 閉講式



「火おこし体験」



「野外炊飯」



「テント設営と安全」

#### 4 成果と課題

##### (1) 成果

- ・ 新しい学習指導要領に示されている「体験活動」の必要性や重要性について理解してもらうことができた。
- ・ 体験学習法や、火おこし体験などを実際に参加者が行うことにより、学校の教育現場ですぐに活用できることを実感してもらうことができた。
- ・ 体験活動を行う際の安全管理について、事故の実例を挙げた講義や、刃物や火を使った実習などで理解を深めることができた。
- ・ 講義と実習が一方に偏ることなく、バランスよく日程を組むことができたため、参加者にも好評であった。

## (2) 課題

- ・ 今年度、一部の大学の免許状更新講習の募集締め切りより遅く当事業の募集を開始したため、対象者がすでに他の更新講習へ申し込みを終えてしまっていた。来年度以降は、もっと早い時期に広報をして、募集を開始しなければならない。
- ・ 県内の各教育委員会を通して、すべての学校に当施設の更新講習事業の案内が届くようにしたが、実際に学校現場の教員に尋ねると、知られていないということがあった。免許状更新対象の教員に周知できるように広報を工夫する必要がある。

## 5 資料

### ○ 参加者アンケートの結果

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体を通してどうでしたか。	100%	0%	0%	0%
事業のプログラムはどうでしたか。	75%	25%	0%	0%
事業の運営はどうでしたか。	25%	75%	0%	0%
職員の指導・助言や対応はどうでしたか。	100%	0%	0%	0%

### ○参加者の感想

#### 【印象に残ったこと】

- ・ 現場の教職員が体験活動について、どのようなスキルを身につけていけばよいのかについて考えさせられた。
- ・ すべての教科に通じることなので、小学校の教員にはこのような更新講習を受講してほしい。
- ・ 人数が少なく寂しい感じがしたが、反対にすごくていねいに教えていただいた。
- ・ オリエンテーリングで最後までポイントを回れなかったことが心残りだったが、最後までできなかった児童・生徒がどんな気持ちなのかがわかって、優しい気持ちになった。
- ・ 講義中の「体験活動の安全＝危険を予測する能力を高める」という言葉が心に残った。

#### 【ためになったこと】

- ・ いつもは子どもたちに指示を出してさせている立場だが、今回は自分でやってみることができたので、本当に何が難しく何が危険であるかということがわかった。
- ・ 子どもたちとともに野外炊飯、オリエンテーリング、テント設営などを行う機会があれば自信を持って楽しく教えることができそうだ。
- ・ 体験活動を重視した講習だったので五感にしみわたる講習として心と体に残った。
- ・ 近年、野外で体験活動をすることがなかったため“安全”に関して疎くなっていたが、今回の講習で再認識できた。

#### 【その他】

- ・ 試験は、たとえば「今回の講習で学んだことを踏まえて、2泊3日宿泊学習を計画しな

さい」といった答えのない問題がいいと思った。

- 講師の先生も職員の方もとても親切で熱心だった。細かいところへの心配りも大変うれしかった。
- 今後外で活動することがあれば、自分も子どもたちといっしょにもっと自然を楽しみたい。